



第365号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

季節は巡り 根はさらに深く

追いかけたい背中

たまに実家に帰ると、ソファで横になってテレビを観て過ごしていることが多い父。家族で食卓を囲んでも、食事が終わればまた定位置のソファに戻り、決まった時間に決まった番組を観るルーティン。

かつてはちよつとした倉庫くらいなら自分で建ててしまったり、キャンプに行けば一人でせっせとテントを立てて、火を起こしキャンプご飯を作るようなアウトドア派な

父だっただけに、すっかり動かなくなってしまうことに少し寂しさを感じることも。

歳を取るとそんな活力もなくなってしまうのかな、と諦めてしまっていた頃のこと。

ある時やむに止まれぬ事情で家の大片付けをしなればならなくなり、父も定位置のソファから動き出すことに。すっかり腰が重くなってしまう父でしたが、面倒くさそうにしながらも昔を思



い出すようにせつせと動いている様子は、昔の背中の大きな父を思い出すような姿でした。

残念ながら私は父のようにDIYで倉庫を建てるような器用さもなく、それをしようと思うような行動力もなかったため、いつもそんな父を近くで眺めているだけの少年時代でしたが、ほんの一時でも一生懸命に動く父を見て、その頃に戻れたよ

春は、入試の季節でもある。結果を待つ間のそわそわとした時間、封を開ける指先のかすかな震え、合格の喜びもあれば、思い描いた未来に届かなかった悔しさもある。しかし、どんな結果であ

れ、確かにそこには経験が残る。長い受験の日々の中で、何度も問題と向き合い、何度も壁にぶつか

芽吹く日

り、それでも前へ進んできた。机に向かった夜のことで、友と励まし合ったこと。そうした積み重ねが、

ひとつの結果に収束するわけではなく、これからの道の糧となっていく。春の風は、花びらを散らす

と同時に、新しい芽を運んでくる。目に見えない成長が、やがて芽吹く日がくる。今はまだ実感できないくても、積み重ねた時間は確かに自分の中に根を下ろしているのだ。どんな春でも、その先には続く道がある。新しい景色を迎える準備をしながら、ゆっくりと歩を進めていけばいい。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送る方には簡単♪下の風船便切手を取り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信同の返封下流で宛封下まで交り局用封今いま



次回発送日

3月の次回発送日は31日の予定です。送りたいお手紙がある場合は28日までに事務局に到着することをお近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。

感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂きたいです。方法は事務局宛てのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報伏せした上でご紹介させて頂きます。ご要望等もお気軽にお送りください。

